

## 「オホーツク紋別ホワイトカレー」が 7月20日誕生!



市内の飲食店の調理師が集まり、地域のブランド化を目指した「紋別ご当地グルメ開発推進協議会」が、地域の食材を基本に、手軽に食べられ、他地域で手がけられていないものとして、「オホーツク紋別ホワイトカレー」を作ることになりました。

この「ホワイトカレー」は、地場産品のホタテなどを使った、流水の“白”をイメージして考えられました。

7月20日から市内飲食店で提供していきませんが、提供店については、決まり次第、新聞やホームページ等でお知らせします。

問い合わせ先 商工労働観光課観光振興係  
☎(24)2111内線250番

### 紋別市・紋別市民憲章推進協議会

「住みよいまちづくりは、市民憲章の実践で」  
私たちの市民憲章は、昭和38年一般市民や中・高校生からの希望、意見を反映し、市制施行10周年の昭和39年7月1日に制定されました。

## 紋別市民憲章

昭和39年7月1日制定

わたしたちオホーツクに生きる紋別市民は、北方文化と北方産業の開拓に尽くすことに大きな喜びと誇りを持ち、この憲章を定めます。

1. 知性を尊ぶ紋別  
真実を大切にし、知識をひろめ、胸をはって明るく生きることにつとめましょう。
1. 生産に励む紋別  
みんなで楽しく元気に働いて、生産と技術の向上をはかり、豊かなまちにしましょう。
1. 健康で明るい紋別  
清潔で暴力のない環境をつくり、交通のきまりや、火の元を守って、健康なまちにしましょう。
1. 文化を育てる紋別  
余暇の利用を工夫し、創造力をねって、郷土の文化を育てましょう。
1. 人間味豊かな紋別  
人には親切、物は大切に、約束を守って、人間味豊かな紋別をつくりましょう。

## ハチに注意

ハチに刺される事故は、7月頃から増加し、巣の最も発達する8月～9月に集中して発生します。ハチは、外敵から巣を守るために刺すので刺激を与えなければむやみに刺すことはありません。



### 野外に出かける際は

- ・露出部分は刺されやすいので、長袖・長ズボンを着用するよう心がける。
- ・ハチは黒色(茶、青でも濃い色)に攻撃性を持つので、白や明るい色(黄色)の服装にする。
- ・ハチが飛んでいるのを見かけたら、近くに巣がありますので、頭を低くして(ハチは下方が見えにくい)静かにその場から遠ざかる。
- ・強い香りのする香料はつけない。

### ハチと遭遇した場合の対処法

- ・ハチが「カチカチ」という音を立てながら、まとわりついてきた場合は、「巣が近くにあるぞ、近寄るな」という警告なので、静かにその場を離れる。
- ・ハチを追い払うと、逆に攻撃してくる場合があるので絶対にしない。
- ・パニック状態になって騒ぐと、巣の中にいたハチも興奮して外に飛び出して襲ってくるので、速やかにその場所を去る。
- ・ハチの巣を発見した場合は概ね2メートルの範囲に近づかない。

### ハチに刺されたら

- ・ハチに刺されたら軽症であっても外科で診察を受ける。ハチの毒に対する体の強さは個人差がありますが、早めの受診をお勧めします。医師の治療を受けるまでは次の応急処置をしてください。
  - ・すばやく毒を絞り出し水で洗い流し、氷または冷水で冷やす。
  - ・目に毒液が入ったときも、水で十分洗い流します。
  - ・腫れ始めたら抗ヒスタミン剤を塗る。この場合、アンモニア水で中和することは誤りです。アンモニア水やオシッコは効果がありません。
- ・特にスズメバチは、2度目に刺されると危険。1度目は体に抗体ができ、2度目に刺されると体質によっては抗体反応から、全身の脱力感、呼吸困難、失神、心肺機能の低下、最悪の場合は死亡する場合がありますので、速やかに医師の治療を受けてください。

問い合わせ先 環境生活課環境保全係  
☎(24)2111内線210番